

多彩な講座で新入社員育成をサポート ～ 市内企業の仲間と学び合い、社会人の必須スキルを徹底習得！～

会員事業所の新入社員教育をサポートするため、毎年4月に「新入社員セミナー」を開催している。社会人としての心構えをはじめ、ビジネスマナーや電話応対、コンプライアンスなど実践的なメニューを提供し、今年度は485名が受講した。

当商工会議所では、企業活動を牽引する「人材の育成・定着」を支援するため、若手・中堅・管理職向けの階層セミナーに加え、経理・人事労務・営業などの分野別セミナーなど、年間約60本の「プロ講師陣」による研修プログラムを提供している。

その中でも、「新入社員セミナー」は毎年好評を博しており、複数コースの受講を希望する企業が多い。また、対面によるグループワークや議論する場を積極的に設けており、受講生同士で刺激を与え合いながら、学びを深めることができる点も評価されている。

今回、特に反響が大きかった「ビジネスマナー習得セミナー」では、社会人としての心構えや敬語、名刺交換などの基本知識の習得はもちろんのこと、身だしなみやお辞儀を講師が一人ひとり指導し、社会人としてふさわしい立ち居振る舞いの実践的な習得を目指した。また、「ビジネス文書・メール基礎セミナー」では、ビジネス文書の基本マナーとルールを学んだ上で、自分の文章が相手に伝わるかどうか、グループワークで議論を重ねることで相互の理解を深めた。

セミナー終了後には、受講生が具体

的な目標と行動計画を記入する「受講レポート」を通じて、各企業の人事担当者にフィードバックを行った。

受講生からは、「実践の場が多く設定されていたため、研修内容の理解がより深まった」「他社の新入社員と共に学ぶことで、様々な意見に触れることができ視野が広がった」といった声が寄せられた。

当商工会議所では、新入社員の成長ステージに応じたフォローアップセミナーを引き続き開催し、各企業で一人前の戦力になれるよう、徹底的にサポートしていく。



Bコース「ビジネスマナー習得セミナー」



Iコース「電話応対トレーニングセミナー」

2025年度 新入社員セミナー（実績）

A	ビジネス基礎実務セミナー 4月2日(水)、3日(木)、7日(月) 目的：社会人としての立場と意識について考え、組織の一員に求められる役割を認識する	166名	F	ビジネス文書・メール基礎セミナー 4月15日(火) 目的：ビジネスの基本マナーとルールに沿って、正確に伝わる文章表現を習得する	28名
B	ビジネスマナー習得セミナー 4月3日(木)、4日(金) 目的：会社の印象を左右する接遇の基本的技術を習得する	86名	G	ものづくり基礎セミナー 4月18日(金) 目的：製造業で働く上での心構えとやりがい、基礎知識を学ぶ	38名
C	報・連・相とビジネスコミュニケーションセミナー 4月4日(金)、7日(月) 目的：上司・先輩・お客様に好かれるコミュニケーションを習得する	64名	H	プロ意識養成セミナー 4月17日(木) 目的：社会人として、仕事に対するプロ意識と責任感を持って、業務に取り組めるようになる	13名
D	仕事で使うパソコン入門セミナー 4月8日(火) 目的：ビジネスで使うパソコンの必須スキルを学び、仕事を効率的に進める	20名	I	電話応対トレーニングセミナー 4月10日(木) 目的：電話応対の心構えやマナー、基本スキルを習得する	34名
E	営業基礎力養成セミナー 4月11日(金) 目的：営業・販売担当者としての心構えと基本行動を習得する	15名	J	コンプライアンス基礎セミナー 4月14日(月) 目的：コンプライアンスや情報セキュリティのポイントを学び、組織の一員となる上で大切な協働意識を育成する	21名

好評
受付中

ご案内 「真の戦力」へステップアップ！
**新入社員向け
フォローアップセミナー**

「入社時からの成長の確認」と
「今後の成長」につながるとの
声多数

STEP UP!

7/9 新入社員3カ月
フォローアップセミナー

職場生活を振り返るとともに、ビジネスの基本を再確認し、仕事に対する不安を払拭する。

10/10 新入社員6カ月
フォローアップセミナー

会社の戦力として、効率的な仕事の進め方やコミュニケーションスキルなどの実践的な力を習得する。

2026
2/4 新入社員10カ月
フォローアップセミナー

先輩社員として、主体性を発揮し、周囲と協力して業務に取り組む力を習得する。

〔各受講料(税込)〕 会員 18,150円 一般 36,300円

ご案内 若手社員向け おすすめセミナー



ビジネスの土台作りはもちろん、コミュニケーション力や主体性の習得など、若手社員の戦力化をサポートします！

複数のセミナーを自由にセレクトし、自分に合ったカリキュラムで学べます。

階層別セミナー

- | | |
|--|--|
| 5/30 外国人社員向け
ビジネスマナー研修 NEW | 8/18 上司が求める「部下力」の磨き方 |
| 6/10 信頼され、仕事を任される人材になれ！
若手社員向けビジネス基礎力養成講座 | 8/29 若手社員が身につけるべき
目標達成に必要な「やり抜く力」と「習慣力」 |
| 7/16 若手社員向け
「論理的なビジネス文書作成」セミナー | 12/5 考える力と気づく力をつけて
一流になる仕事の基本8カ条 |
| 7/18 若手社員が身につけるべき
「報・連・相」の習得 | 2/19 若手・中堅社員に必須の
「仕事力」習得セミナー |

スキルアップセミナー

- 10/2 クレームからカスハラまで克服！
クレーム電話応対実践セミナー

詳細はホームページまたは、
年間ガイドをご確認ください

〔各受講料(税込)〕 終日/会員 18,150円 一般 36,300円 半日/会員 12,100円 一般 24,200円

【お問合せ】神戸商工会議所 会員事業部（人材開発担当） ☎078-303-5808
各社のご要望に応じた研修プログラムを実施する「オーダーメイド研修」も提供しています。
詳細につきましては、上記までお気軽にお問合せください。

詳細・
お申込みは
こちら



新入社員セミナー受講者の声



- ✓ 学生時代の甘えは社会では通用せず、責任を持って業務にあたる必要があることを痛感した。〔デザイン業〕
- ✓ 会社にいかに貢献するかについて考えるきっかけとなった。〔食品製造業〕
- ✓ 「前向きな姿勢で感謝の気持ちを忘れない」などの基本的な心構えを自然にもてるようになりたいと感じた。〔土木業〕

副会頭と支部運営委員が意見交換

正副支部長・運営委員会議

各地域を代表する企業や団体で構成する支部運営委員の連絡会議を開催した。

東神戸支部（中島洋人支部長）には伊藤副会頭、中央支部（今津由雄支部長）には高田副会頭、西神戸支部（松田幸治支部長）には國井副会頭がそれぞれ出席し、各企業・団体の取り組みや管内の景況感について意見交換を行った。

各地域の運営委員からは、原材料費や人件費の高騰、深刻な人手不足、価格転嫁の難しさなど切実な経営課題が報告された。

また、各社・団体の取り組みとして、ファンづくりを目

的とした工場見学会の実施、製造部門への外国人材の積極的な登用、国際的なトレイルランニングイベント（山岳レース）の開催などの事例が紹介された。加えて、各地域の中心市街地の再開発に関する動きや課題についても意見交換が行われた。

各副会頭は、「神戸の生活文化をより多くのインバウンド客に体験してほしい」「神戸経済のポテンシャルは高いので一丸となって活性化に取り組みたい」「従業員の意識が変われば会社が大きく変革できる」など、各地域のリーダーに今後の期待を寄せた。



中小企業振興部



3.6 会員間のネットワークを拡大

新会員懇談会



会員間のネットワークづくりの機会として、入会3年以内の会員事業所を対象とした新会員懇談会を開催した。

(株)ママクリエイターラボ代表取締役の榊原杏奈氏を講師に迎え、「はじめての広報戦略!～売上につながるWEBマーケティング～」と題して講演会を実施。榊原氏は、SNSやWEBを活用したマーケティング戦略の基本として、顧客導線の設計や顧客に選ばれる事業コンセプトの策定手法について解説した。

講演後に開催した交流会では、参加者同士で名刺交換が行われ、会員交流の輪を広げた。

会員事業部事業推進チーム

3.10 デジタル活用の先進企業から学ぶ

次世代産業委員会 DXセミナー



次世代産業委員会は、デジタル活用の先進企業からDX成功の秘訣を学ぶセミナーを開催した。

基調講演として、経済産業省「DXセクション2024」でグランプリを受賞した浜松倉庫(株)代表取締役社長の中山彰人氏が登壇。若手社員を起点に従業員のマインドを変革し、サプライチェーン全体を巻き込んでいくプロセスの重要性とともに、DXによる具体的な成果創出事例を紹介した。

また、地元企業の事例として、(株)御所坊代表取締役社長の金井啓修氏と伊福精密(株)代表取締役社長の伊福元彦氏がそれぞれのDXの取り組みを紹介した。

産業部産業振興チーム

3.11 AIによる自動仕訳を学ぶ

会計業務を楽にするデジタル活用セミナー



会計業務の効率化を目的にデジタル活用セミナーを開催した。はじめに、灘税務署の担当者から電子帳簿保存法やインボイス制度の概要について説明。続いて、(株)日本デジタル研究所と(株)ソリマチの2社がAIを活用した自動仕訳など独自ツールの実演を交えながら、デジタル活用の有効性を紹介した。

参加者からは、「自動処理の精度の高さに驚いた」「煩雑化する業務もデジタル化で大幅な業務効率につながりそうだ」などの声が聞かれた。

東神戸支部

3.25 神戸発スタートアップと地元企業のイノベーション創出を目指す

神戸イノベーション・コミュニティ×金融機関コミュニティMEET UP!



新事業・イノベーション創出委員会は、日本政策金融公庫と共同で、神戸の金融機関から支援を受ける「ひょうご神戸発スタートアップ」と会員企業の交流イベントを開催した。

はじめに、日本政策金融公庫より神戸の金融機関コミュニティ「金融部会」の取り組みを紹介。続いて、死と森づくりを掛け合わせた「循環葬」を提供するatFOREST(株)、写真撮影を軸としたインバウンド向けサービスを展開する(株)LIFE SHOTなど4社がピッチを行った。その後、当商工会議所の取り組みについて説明し、参加企業相互の協業を呼び掛けた。

産業部産業振興チーム

3.13 スタートアップが持つ最新テクノロジーを紹介

KOBE Business Innovation



新事業・イノベーション創出委員会は、神戸市・三井住友銀行・みなと銀行・アンカー神戸・NPO法人コミュニティリンクと共同で、最新の技術・サービスで急成長し、東京を中心に活動するスタートアップと会員企業の交流イベントを開催した。

中小企業の従業員の資産形成を支援する“はぐくみ企業年金システム”を提供する(株)ベター・プレイス、電話・Web会議・対面会話をAIで解析する(株)RevComm、再生数に応じて報酬が得られる広告プラットフォームを運営するTOPICO(株)など5社がピッチを行った。

産業部産業振興チーム

3.27 GLION ARENA KOBEを視察

神戸スポーツ産業懇話会 第24回例会



神戸スポーツ産業懇話会は、GLION ARENA KOBEの開業前内覧会を開催した。

当日はアリーナ運営を担う(株)One Bright KOBEの担当者の案内のもと、企業向けのVIPラウンジを含む観客席やメインコートに加えて、本アリーナを本拠地とするB.LEAGUE所属のプロバスケットボールチーム「神戸ストークス」の練習用サブアリーナなど、バックヤードも視察した。

参加者はアリーナのポテンシャルについて学びを深めるとともに、企業としての利活用や協業の可能性について積極的に同社担当者に質問を寄せた。

産業部産業振興チーム